

お知らせ

新年度の4月から「買い物支援バス」の運行を予定しています。どうぞご利用ください。

岩 沢 通 信

第53号  
2018年(平成30年)5月25日創刊  
発行 岩沢アチコタネーゼ  
岩沢地域振興協議会・岩沢分館  
編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

鮭の稚魚放流開催



2月13日東日本旅客鉄道(株)と魚沼漁業協同組合の主催する「鮭の稚魚放流」が川井本田信濃川右岸河川敷で開催された。この取り組みは、信濃川の河川環境と水利の調和を図る取り組みとして毎年この時期に開催されており、今回が10回目となる。総合学習として毎回参加している南小学校の2・4年生20人も放流に加わり「頑張って泳いで、大きくなってここに戻ってきてね」など声掛けながら、稚魚の入ったバケツを静かに川に傾けた。



数はわずかに0.2%にしかならな  
いことなど  
がイラスト  
を使って説  
明された。



山谷町内の矢放神社にロープを巧みに操り、次々と枝を切り落としていくパフォーマーが現れた。

山谷神社で枝下ろし

アクロバティックな技で作業  
山谷町内の矢放神社にロープを巧みに操り、次々と枝を切り落としていくパフォーマーが現れた。



造園業つばさガール(羽鳥 登(ハチロウ)社長)が枝下ろしを行ったものである。作業をこなしたのは、岩沢で地域おこし協力隊として活動した山田優子さんの夫で山岳警備隊にも所属した経験のある太一さん。見事なロープワ

編集後記

先日我が町内でも春の総会が開催されました。私は都合が悪く欠席でしたので、夕方自宅に折詰と会議資料が届けられていました。来年度の役員名簿を確認すると、なんと私の名前が役員の中に一つもありません。こんなことは十数年ぶりです。これも今年度の町内会長始め主な役員が来年度も役を続けると声を上げてくれたおかげです。少しずつですが、地域が何とかしなくてはいけないところから始めたのではないのでしょうか。岩沢の話題でなく、すみません。

岩沢振興会からのお知らせ

先日行った小千谷市からのアンケートについて、岩沢の「コミュニティバスの運行範囲や利用法などの情報がわかること」という項目が利用するための条件として上位にあげられましたので、改めてコミュニティバスに関する運行規定をお知らせします。参考にしていただきたいと思ひます。

- ・コミュニティバスの運行は「岩沢コミュニティバス運営委員会」によって行われ、岩沢地域振興会役員と兼任となっています。
- ・コミュニティバスを利用できる者は、岩沢地域の生活交通空白地域(岩山、池ノ又、田代、小土山、外之沢)に住所を有する者に限ると規定されています。また、この場合管理協力金として外之沢・小土山からは300円、田代からは250円、岩山・池ノ又からは200円(片道)を徴収するとされています。
- ・バスを利用する者は、月毎にコミュニティバス利用申込書を運営委員会に提出するものとするとも規定されています
- ・市ノ口、山谷、桂町内からバス停までの接続運行や買い物支援バスは、福祉会が地域コミュニティ活動のために行っている事業です。
- ・デイホームや健康教室、その他は間合い利用として利用が認められています。

コミュニティバス運行について